

【イマズスルフロン・カフェンストロール・ベンゾビシクロン水和剤】

農林水産省登録 第20946号
 性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体
 毒 性：普通物
 危 険 物：—
 有効年限：5 年
 包 装：500 ml×20、2 ℓ×6

イッテツ®フロアブル

有効成分：イマズスルフロン…………… 1.7% カフェンストロール(PRTR・1種)……………5.7%
 ベンゾビシクロン…………… 3.8%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用雑草名	使用時期*	適用土壌	10アール 当り 使用量	総使用回数*	適用地帯	使用方法
移植 水 稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北、 九州) ヒルムシロ (北陸を除く) セリ エゾノサヤカグサ (北海道) シズイ (東北) オモダカ (北海道、東北) クログワイ (東北、関東・東 山・東海、近畿・ 中国・四国、九州) コウキヤガラ (東北、関東・東 山・東海、九州) アオミドロ・藻類 による表層はく離 (北陸を除く)	移植後 5日～ ノビエ 2.5葉期 ただし、 移植後 30日まで	砂壤土～ 埴土	500 ml	本 剤：1回 イマズスルフロン：2回 カフェンストロール：1回 ベンゾビシクロン：2回	全域の普通期 及び早期栽培 地帯	原液湛水散布、 水口施用又は無人ヘリコプターによる滴下
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ 2.5葉期 ただし、 収穫90日前 まで				全域	原液湛水散布



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 使用前には容器を軽く振る。また、使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
- 主要雑草に対する散布適期幅

ノビエ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ へらオモダカ ヒルムシロ セリ	2.5 葉期まで 2 葉期まで " " " (東北・九州は発生始期) 発生期まで 再生始期まで	エゾノサヤヌカガサ シズイ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類 による表層はく離	2 葉期まで 草丈 3 cm まで 発生始期 (北海道は発生前) まで 発生始期 (東北は発生前) まで 発生始期まで 発生前
--------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの 2.5 葉期までに時期を失しないように使用する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するよう注意する。
- オモダカ、シズイ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないので、有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
- 直播水稲で使用する場合、イネの根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないように適期に散布するよう注意する。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化作業及び植付けはていねいに行う。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行う。
- 散布の際は水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布する。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水と共に水田全面に拡散させる。処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深 3～5 cm）に達したときに必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意する。
- 本剤を無人ヘリコプターで滴下する場合は次の注意を守る。
 - 滴下は使用機種の使用基準に従って実施する。
 - 滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しない。
 - 作業中、薬液が漏れないように装置の十分な点検を行う。
 - 隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は無人ヘリコプターによる本剤の滴下は行わない。
 - 水源池、飲料水等に本剤が流入しないよう十分留意する。
 - 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
 - 本剤の滴下に使用した無人ヘリコプターの散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しない。
- 本剤処理後、少なくとも 3～4 日間は通常の湛水状態（水深 3～5 cm）を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意する。また、散布後 7 日間は落水、かけ流しはしない。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさける。
 - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田（減水深が 2 cm/日以上）。
 - 軟弱な苗を移植した水田。
 - 極端な浅植えの水田。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさける。
- 本剤は、移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用い

で移植前に防除してから使用する。

- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いない。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意する。眼に入った場合は直ちに水洗する。(弱い刺激性)
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人ヘリコプターによる滴下で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温な場所に密栓して保管する。
12 頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4) -G も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- イマズスルフロンに、ノビエに対して高い効果を示すカフェンストールと、各種一年生雑草、多年生雑草に高い効果を示す成分ベンゾピシクロンを合理的に配合したフロアブルタイプの水稲用除草剤です。
- 水田に入らず、短時間に散布ができます。
畦畔からボトルのまま原液を直接散布できるので、散布器具が不要で、水田に入らず手軽に散布できます。
- 残効期間が長い。
後次発生が問題となるノビエ、ホタルイ等に対し発生を長期間抑制します。
- 水中拡散性に優れた製剤です。
水中拡散性に優れたフロアブル製剤のため、多少の散布ムラが生じても効果への影響はありません。